

2021.3月号

令和3年3月15日発行

発行元 NPO法人陽だまり  
 発行元住所 〒739-0025  
 東広島市西条中央 7-17-35-101  
 電話 082-422-4115  
<http://www.npo-hidamari.or.jp>

NPO法人と寄付

陽だまりクラブ

訪問介護 / こどもくらぶ

事務局だより

## NPO法人と寄付

### ～寄付が社会を変える～



陽だまりが寄付活動を始めたのは8年前。「放課後こどもくらぶ」開設のために現在地へ移転するためでした。初めての試みで不安もありましたが、目標額の115万円を無事達成！！このことをきっかけに、本格的に寄付活動をするようになりました。ところで、NPO法人にとって寄付とは何でしょうか。そして、寄付で何が実現できるのでしょうか。今号ではそんな疑問にお答えします。

#### 寄付で実現できたこと

まず初めに、今年度も3月10日現在で、135件の企業・団体様及び個人の方から計150万9千円のご寄付をお寄せ頂きました。心よりお礼申し上げます。

「陽だまりクラブ」を立ち上げた21年前から、陽だまりはたくさんのご支援を受けてきました。共同募金会からの立ち上げ資金、24時間テレビからの福祉車両…これらの間接的な寄付がなかったら、「陽だまりクラブ」も「放課後こどもくらぶ」も立ち上げることは出来ませんでした。直接的なご寄付は、西条ロータリークラブ様からの遊び道具、そして移転費用でした。社会課題の解決を目指すNPO法人には、収益の見込めない事業が存在します。陽だまりにとっては「陽だまりクラブ」がそれに当たります。年間約200万円の赤字事業ですが、それでも運営できるのは、毎年約100万円のご寄付が寄せられるからです。誰でも

必要な時に使えるように利用料は上げたくない。ご寄付が陽だまりのこの信念を支えています。

#### NPO法人にとって寄付とは

収益性はないけれど必要という事業には、助成金・補助金を活用するという方法もあります。しかし、助成金・補助金は使い道が限られている上、途絶えたら事業が継続できなくなります。その点、寄付金はNPO法人への共感が動機になっていることから継続性が見込め、かつ社会課題の解決に向けて自由に投資することができます。ただし、そこにはNPO法人への絶対的な信頼が不可欠です。現に、NPO法

は、幅広く市民の指示を得ているかどうかをテストする項目に、寄付者数を掲げています。陽だまりは、長い年月をかけて信頼していただける団体に成長できました。

#### 寄付は社会を変える力

陽だまりは、「支える」「参加する」「飛び立つ」をキーワードに、地域の中に居場所をつくることを目指しています。そこは、子ども、学生、シニア、子育て親子など多世代が集まるところ、自分の特技を生かして生き生きできる場所、素のままの自分でいても安心できる場所、家族のような繋がりがあかつ適度な距離感があるところ…そんな居場所です。今は、商工会議所が運営する産業支援拠点「Hi-Biz」に相談しながら、実現に向けて模索を始めた段階です。ご寄付はそんな地域づくり実現にも繋がっていきます。NPO法人にとって、寄付は社会課題を解決する大きな力となるのです。

陽だまりへのご寄付



## 陽だまりクラブ

### 活動者研修

今年は新型コロナウイルス感染防止対策のため、陽だまり事務所よりも広い会場のある東広島市商工会議所で開催し、20人が参加しました!(^^)! 前半は「活動での注意点と活動事例の紹介」、後半は「NPO法人の役割と寄付について」という内容です。活動事例では、夕方の安否確認、葬儀の付き添い、話し相手、小屋作りという4つの活動を紹介しました。どれも、制度ではできないけれど、その方にとってはどうしても必要だったことばかりです。活動者の皆さんは利用者の方に寄り添う気持ちで活動してくださっていて、感謝の気持ちで一杯になります。後半は、以前テレビの取材を受けた時のニュース映像を見た後、法人としてのこれからと寄付の大切さを伝えました。



山口渾身の手作りフリップで事例を紹介



これからも皆さんと共に、**元気に楽しく**活動ができるようお手伝いしていきます！今回は叶いませんでしたが、またみんなでわいわいと楽しい食事ができますように！（報告：山口百合）



活動者のみなさんと事務局スタッフ

### 活動紹介～こんな活動もできるんだ編 ②～

「陽だまりクラブで、自宅の片付けを手伝ってもらうことはできませんか?」。ケアマネジャーから1本の相談の電話が入りました。一軒家にお住いのT様ご夫婦。

奥様が突然脳梗塞で入院され、自宅に帰る時には要介護4で、介護保険を利用されることになりました。「妻が心配だから、1階に自分のベッドも置きたい。」とご主人。ご主人は腰を患っていることもあり、片付けと整理が一人ではとてもできない状態でした。まずは、介護をしやすいように、奥様の寝室となる和室の片付けを行いました。次に、ソファやテーブルなどが置いてあるリビングを片付けて、ご主人のベッドを置くスペースを作りました。片付けが進んでくると勢いがつきます。台所・お庭の鉢植えなどの片付けも希望され、5人の活動者がのべ10時間かけて、何とかご希望を叶えることができました。



陽だまりクラブはプロの方のような片付けや掃除はできませんが、家族の方と相談しながらお手伝いすることはできます。困っている方がいらっしゃいましたら、お気軽にご相談ください(^^)♪

## 新活動者紹介

①陽だまりに入ったきっかけ ②趣味・特技 ③一言

**貞永 実奈子 さん** 60代 女性

☆物腰の柔らかい優しい方です♡

- ①プレスネットのチラシを見て。
- ②お年寄りの話を聴くことです。
- ③人付き合いは苦手ですが、頑張ってみようと思います。

**前川 啓二 さん** 60代 男性

☆とっても真面目で信頼のできる方です！

- ①先輩のすすめで。 ②特にありません。
- ③個人の具体的な支援活動は理解していませんが先輩の皆様のご指導ご助言によって一日も早く支援者として努力していくつもりです！

**増田 洋二 さん** 70代 男性

☆活動的で生き生きとされている方です♪

- ①プレスネットの折込みチラシを見て。
- ②四季折々の写真を撮り楽しんでいます。
- ③毎日5キロ走ったり歩いたりして25年。今のところ元気でビールもうまい！！

# 活動者募集

年齢・資格不問

～できる人ができる事をできる時に～

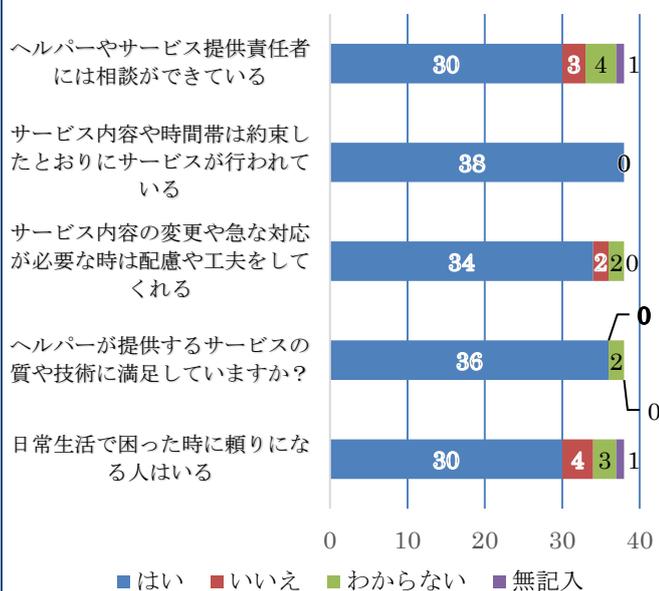
(活動費 600 円/時間)

## 訪問介護

### 訪問介護利用者様アンケート

アンケートにご協力くださり、ありがとうございます。支援内容や満足度の項目など高く評価していただき大変嬉しく思っています。もっと提案やアドバイスがほしい！というご意見もありました。陽だまりクラブとセットでお応えできることがありますので、お気軽にご相談ください(^)/ 住み慣れたご自宅で過ごせますよう皆さまの生活のお手伝いをいたしますので、次年度も陽だまり訪問介護事業所をよろしく願います！

アンケート結果 (回答38人)



#### 【皆さまからのコメント】

- ・母が加齢によってできることが減っていると思います。記録書を見るとその日の様子がよくわかります。
- ・何事も良くして頂いています。感謝、感謝です。
- ・毎回気持ちの良い挨拶をされます。

(報告：山本陽子)

## シリーズ「私なりに仕事を続ける」③

「なぁに！大丈夫ですよ！続けてやっていればそのうちに覚えて出来るようになりますよ」。これは、約6年前、ヘルパーの初仕事で担当させていただいたI様のお言葉です。緊張しすぎた私に見かねてのお言葉でした。入浴介助中のこと。I様が洗身される後姿が、当時の私には仏様のようなことを懐かしく思い出されます。その約1ヵ月後、私は訪問先に車で向かう途中、バイクと衝突事故を起こしてしまいました。もう頭は真っ白！事務所に連絡を入れると、すぐに責任者が駆けつけ(救急車より早かった)、事故処理、被害者対応、のちの謝罪訪問、プラスすっかり落ち込んだ私の精神的ケアまでガッツリとサポートをいただきました。これも、今も仕事を続けることが出来ている理由の一つです。また我が家には91才になる姑が健在です。畑仕事をしていますが年齢とともに弱ってまいりました。諸事情により仕事は週2～3日にしております。ヘルパーの仕事は限られた時間ではありますが、縁あってのこと、悔いのないように務めていきたいと思えます。

(ヘルパー：田村昭子)

## 放課後こどもくらぶ

### コロナの感染対策

行政の補助金で、加湿器と空気清浄機を購入し、床は抗菌仕様のフロアマットに張り替えるなど環境整備を行いました。また消毒液、不織布マスク、ペーパータオルなど、感染対策における消耗品も購入しました。これらを活用して、今後も感染予防に努めて行きます。

### 冬休みの過ごし方

今年は何年に比べ冬休みが短く、陽だまりで過ごしたのは正月3日間だけでした。初日は、竹と紐を結わえて子どもの手のひらサイズの「熊手作り」。正月明けの初日は、御建神社へ「初詣遠足」。歩いて行ける場所ですが、あえて路線バスを使い、バスの乗り方を学びました。初めてバスに乗る子は、降りる時にお金を





バスを降りるのもドキドキ



「大吉出てこい!!」

両替機に入れようとする場面もありました。最終日は「正月あそび」で、百人一首、カルタ、のん太双六、コマ回しをしました。中でもコマ回しは、おじいちゃん(?)たちに手伝ってもらい、多世代交流となりました。今後も、いろいろな体験の場を提供していきたいと思います。



コマ回しが一番の難関

(報告：石井弥生)

## 学生ボランティアさんより☺

～こどもくらぶでのボランティア活動の感想～

迫 佳沙音

ボランティア初日は上手く子どもたちと関わっていけるか不安でしたが、陽だまりの子どもたちはとても元気で、すぐに「かさちゃん!」と呼んで打ち解けてくれたのでホッとしました。また、新型コロナウイルスの状況により、大学での授業や活動が制限され、人との交流機会が少ない中、陽だまりに行く子どもたちが「遊ぼう!」とか「おんぶ!」と言って声をかけてくれたり、宿題をする時やものづくりをした時などに頼って来てくれたりすることが嬉しく、ボランティア活動を終えた後はとても気持ちが充実していました。陽だまりは私のように子どもたちと一緒に過ごすボランティアさんだけではなく、おやつボランティアの方や送迎のボランティアの方など、様々な形で多くの地域の人々が支えている、あたたかい場所だと感じました。陽だまりでの子どもたちとの接し方や職員さんのお話などから、これからの大学生活、社会生活に生きる経験をたくさんさせていただきまし、陽だまりに行くことでエネルギッシュな子どもたちからパワーをもらいました。短い間でしたが、ありがとうございました。



## 事務局だより



### 運転講習を2回開催

福山市は、市独自の移動サービスとして「高齢者外出(おでかけ)支援事業」を地域と協働で行っています。その運転協力者を養成する講習会の講師として、市川が12月12日(土)に福山市役所へ行ってきました。参加者は6地域の14人。地域のことから前向きな人が多かったのが印象的でした。なお、福山市への講師派遣は4年前から行っています。福山市に限らず、今後も要請があれば出来るだけ応えていきたいと思っています。

(報告：市川マヤ)

### 2月のお茶会

2月12日(金)、コロナ禍ですがお茶会を開催しました。会場を広くするために、初めて東広島市商工会議所の部屋をお借りしました。今回の内容は、陽だまりヘルパーの濱中さん持ち込み企画「コーヒーフィルターでバラを作ろう」でした。水に差しておく、水を吸い上げて加湿ができるバラです。そしてお茶菓子は、「ダックワース抹茶クリーム大納言小豆入り」♥本城さんが作って下さるお菓子は、売り物ではと思う程おいしく、見た目も素敵です。最後は、みんなで歌を歌って肺活量と気分を高めました。おうち時間が増え、孤独を感じることもあるかもしれませんが、定員10人、スタッフ3人と少人数で短時間ですが、また楽しい企画を準備してお待ちしています。



(報告：寺内あけみ)

### 続続・理事会では

2月・3月の理事会では、次年度の事業計画を協議しています。そしてこのご時世、陽だまりリモート会議デビューしました!初回はこどもくらぶの学生ス



タッフにサポートをお願いし、2回目からは自力で開催しています。何でもチャレンジの思いで、新年度も力を合わせてがんばります。